SPEAKER SYSTEM

D-605SR

ONKYO®

取扱説明書

安全にご使用いただくために。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いします。
お読みになったあとは、保証書、オンキヨーサービス網一覧表とともに大切に保管してください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 改造しない

分解禁止

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因になります。

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

⚠注意

■ 設置上の注意

● ぐらついた台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんの上など不安定な場所におかないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。

● 移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になります。

● 壁はその材質、桟などの位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ますので取り付けに際しては、十分ご注意ください。（専門業者にご相談ください。）

■ スピーカーコードは安全な場所へ

● スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■ 使用上の注意

● 電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

● 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

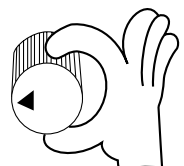
● 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

● キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

ステレオ、音のエチケット

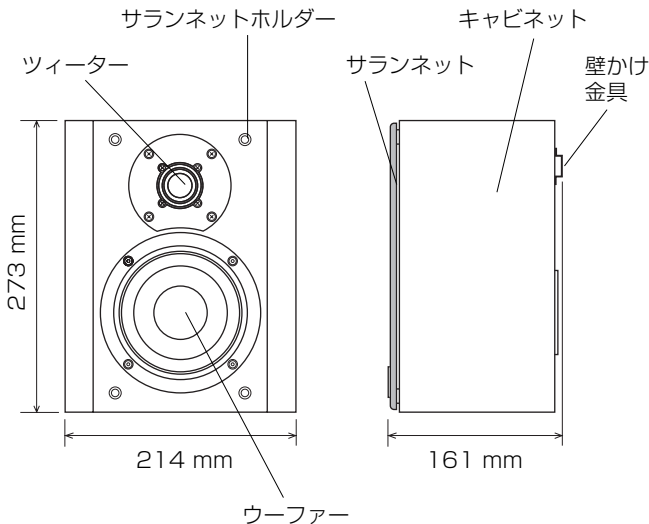
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

お手入れについて

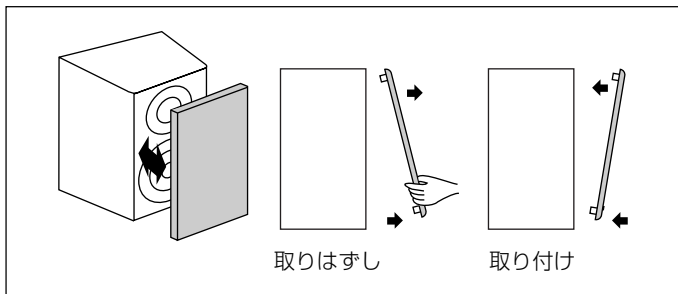
キャビネットは、時々シリコンクロスまたは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものなどでふきますと傷がついたり、文字が消えたり、変色したりすることがありますから、ご使用にならないでください。

化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

サランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか、ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

各部の名称

サランネットの着脱

このスピーカーシステムは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にある突起部を本体のサランネットホルダーに合わせて押し込みます。

テレビやパソコンを組み合わせるとき

一般的にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので普通のスピーカーシステムを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は、(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能となっています。
ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は 一度テレビの電源を切り、15 分～ 30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合はスピーカーをテレビから離してください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

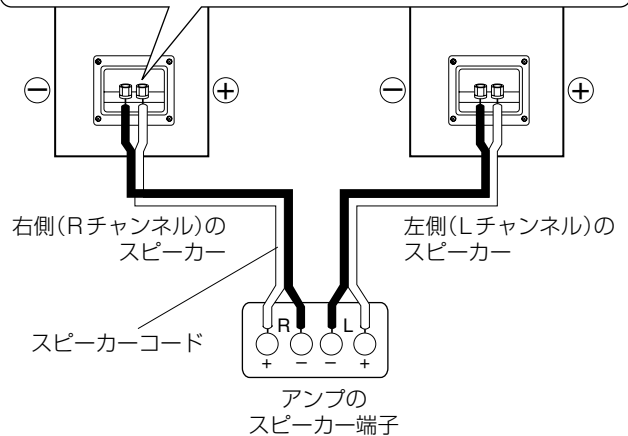
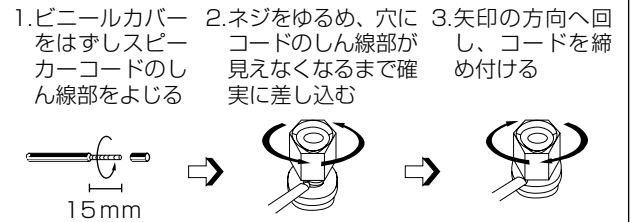
ご注意

テレビなどとの近接使用をした場合、テレビから出ている電磁波の影響でアンプの電源を切っていてもスピーカーが雑音を発生することがあります。このような場合は、スピーカーをテレビからさらに離してご使用ください。

接続のしかた

- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは6Ωです。接続するアンプはそれに適したものをご使用ください。
- 本機裏面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を、スピーカーコードで次の図のように接続してください。
- 右側に設置するスピーカーは、アンプのスピーカー出力端子のR(右)に、左側に設置するスピーカーは、L(左)に接続してください。

- スピーカーコードのしん線は良くよじり、確実に端子に接続してください。

☆ 本機の入力端子は、市販バナナプラグを使用することができます。

アンプの電源スイッチを入れる前に

- スピーカーコードの +、ー がショート(接触)していないか十分に確認してください。ショートさせるとアンプが故障する場合があります。
- スピーカーコードの +、ー(極性)、L(左)R(右)を間違えないでください。極性を間違えると、低音感が損なわれて音の定位が定まらなくなります。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

ご注意

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、浴室や台所の近くなど、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。傾斜した場所や強度の低い台等に設置すると転倒や落下の危険があるだけでなく、音質的にも好ましくありません。

取り扱い上の注意

- 本機は通常の音楽再生には表示の許容入力に十分耐えますが、次のような特殊な信号が加えられますと、最大許容入力以下でも過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

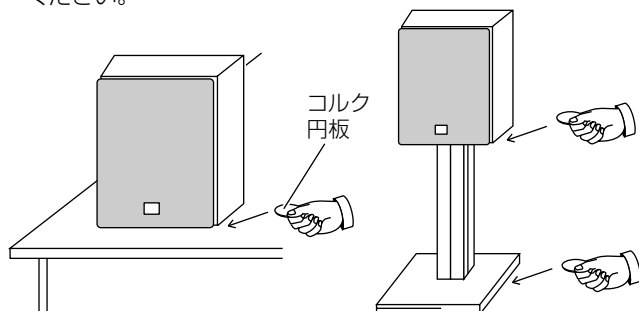
① FM チューナーが同調していないときのノイズ
② テープレコーダーを早送りしたときの音
③ 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
④ アンプが発振しているとき

⑤ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
⑥ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
(抜き差し時は必ずアンプの電源を切ってから行ってください)
⑦ マイク使用時のハウリング

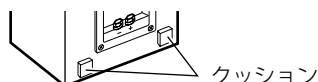
- 本機のツィーターには強力な磁石を採用していますのでドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

スピーカーシステムの設置場所について

スピーカーシステムの音質は、それを設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音で音楽を楽しんでいただくために、次のようなことにご注意ください。

- スピーカーシステムを床に直接置きますと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。ブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- このとき、スピーカースタンドと接地面の間にガタツキがありますと、質の良い低音が得られませんので、付属のコルク円板またはコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。

- 棚のようにスピーカーシステムと接触する面積が広いときは、間にコルク円板やコイン等をはさんで面接触から点接触に変える方が一般に良い結果が得られます。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 一般に、部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、ステレオ再生の場合、良い結果になります。極端に違うと、左右の音のバランスが崩れることがあります。
- お聞きになる位置(リスニングポジション)が左右のスピーカーシステムを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーシステムの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。
- サラウンドスピーカーとしてご使用の場合

  壁につける場合、壁の強度に十分注意してください。壁はその材質、桟などの位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ますので、取り付けに際しては十分注意してください。ネジは、頭の直径が10mm以下、ネジ部の直径が4mm以下で、できるだけ太く、長いものをご使用ください。(業者の方にご相談いただくのが安心です)

  性能上、また、安定に壁に取り付けるため下図の位置に付属のクッションを貼り付けてください。

- 本機の底面のネジ穴について

  本機の底面には市販のスピーカースタンドなどのアクセサリーを取り付けて、設置のバリエーションが楽しめるネジ穴が装着されています。(M5雌ネジ×2、ピッチ60mm)

ご注意

アクセサリーをご使用の際はネジ長に注意してください。有効ネジ長が14〜17mmで強度が充分得られる物をご使用ください。

主な仕様

形式:	2ウェイ　密閉型
定格インピーダンス:	6Ω
最大入力:	150W
定格感度レベル:	83.5dB/W/m
定格周波数範囲:	50Hz〜40kHz
クロスオーバー周波数:	3kHz
キャビネット内容積:	4.5ℓ
使用スピーカー:	ウーファー:13cm　コーン型 ツィーター:2.5cm　ドーム型
外形寸法:	214(W)×273(H)×161(D)mm (サランネット、突起部含む)
質量:	4.2kg
付属品:	クッション(2個)、 コルク円板(4個)、 取扱説明書、保証書、 オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
その他:	防磁設計(EIAJ)

本機の定格及び外観は性能改善のため予告なく変更することがあります。

修理について

1. この商品には保証書を別途添付しています。保証書は販売店でお渡し致しますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2. 保証期間中の修理などご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにお問い合わせください。
3. 万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。
4. 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。
5. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日:　　年　　月　　日
ご購入店名:
Tel.　　(　　)
メモ:

ONKYO®
オンキヨー株式会社
ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/
本社/大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572-8540
製品の故障や修理についてのお問い合わせ先:
お買い上げの販売店もしくは
「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」に記載の
最寄りのサービスステーションにお申し出ください。
お客様相談窓口:☎ 072(831)8111

SN 29342985A
Printed in Japan D0107-2